

第 140 回北信越地区高等学校野球大会
令和元年度（春季） 報告書

令和元年 6 月

南支部審判委員 笹川勝男
北支部審判委員 渡辺 壮

表題の大会に審判委員として派遣させていただきましたので、報告いたします。

主催：北信越地区高等学校野球連盟

主管：富山県高等学校野球連盟

期日：令和元年 6 月 1 日（土）、2 日（日）、3 日（月）、4 日（火）

場所：富山市民球場・高岡西部総合公園野球場

富山県高等学校野球連盟会長 林 誠一

審判委員長 西田秀行

審判副委員長 山崎正男 辻明浩

審判幹事 土肥尚宏 羽根宏紀 酒井雅紀 丸池満 澤徹

富山県審判委員 平田厚志 吉田信義 野尻幸寛 坂本吾郎 花野錠二

橋昇任 小林清悦 野村謙一 吉田英

長野県審判委員 一之瀬雄大 三村広

石川県審判委員 伊藤淳 山口智央

福井県審判委員 出雲克己 古森輝和

新潟県審判委員 笹川勝男 渡辺壮

5 月 31 日（金）

審判委員打ち合わせ会議

会場：富山市民球場

役員、審判委員挨拶、自己紹介

メカニクスの確認について

・2019 年度『高校野球審判の手引き』どおり

重点事項、試合に関する諸規定・注意事項の確認

- ・2019年「重点指導事項」 (参照P*3)
- ・2019年「周知徹底事項」 (参照P*4)
- ・第91回選抜高等学校野球大会を終えて (参照P*5)
- ・スピーディーなゲームとフェアプレイの重点指導 (参照P*6)
- ・試合に関する諸規定 (参照P*7)
- ・審判委員確認事項 (参照P*8)

2019年北信越大会 審判委員確認事項 (抜擢記載)

- ・試合前には十分なミーティングを行う
- ・四氏審判委員が協議し、判定をくださる場合、再開の仕方を含め控え審判に報告
- ・1人タイムでも必ずタイムをコールする
- ・フォーメーションなど各県で違いがあるかもしれないので、クルーは試合前ミーティングで確認する
- ・サインを出す順番
走者1塁 球：三星を指す→ 一：本塁を指す→ 二塁：一塁を指す
走者スコアリング 球：足元を指す→ 二：三星を指す→ 一塁：二塁を指す
- ・トラブル時は正対して選手の話聞く、その選手が監督に説明するのを見届け、監督からのアンサーを確認する。説明は言葉だけで行い、身振り、手振りを入れない
- ・選手への目配り、気配り重要。未然防止のため注意 (ささやく)

アンフェアなプレイの指導

- ・送りバントをした打者がわざと一塁へのスタートを遅らせ、出会い頭のプレイのように見せかける行為。
- ・三星手、一塁手がプレイもないのに走路に立つ行為。

担当させていただいた試合について

6月1日 (土)

高岡西部運動公園野球場

第2試合

日本航空石川 (石川2位) 0対1 敦賀気比 (福井2位)

球審 笹川 1塁 渡辺 2塁 野尻 3塁 花尾 控 澤
(新潟) (新潟) (富山) (富山) (富山)

『試合前トス』

- ・球審と控 (審判幹事) 立会で行われた。
- ・審判幹事がサングラス、テーピング選手の確認をしてくれた。

『試合前ミーティング』

- ・打球判定について入念に打ち合わせが行われた。
- ・二塁審判が中に位置した時、内野手が前進守備、又は中間守備の場合でも外には出ずに中に位置することとした。
- ・膝下の低い打球に関しては、とくに二塁審判が中に位置した時は、確認出来たら率先してジャッジすることとした。
- ・大会初日でもあるので、アンフェアなプレイ等を見つけたら注意をあたえるよう伝えられた。

『試合後ミーティング』

- ・捕手がきわどいコースに来るとミットを動かすので球審から注意をうけ、その後動かさなくなった。
- ・1塁手が判定のタイミングで『アウト』と言っていたので、『アウト、セーフは私が判定するから、頑張っに行こうぜ』と伝えると『すみません、ありがとうございます。』と爽やかに返事をしてくれた。

6月2日（日）

富山市民球場

第1試合

東海大諏訪（長野1位）2対4 星稜（石川1位）

球審	渡辺	1塁	笹川	2塁	酒井	3塁	坂本	控	土肥
	（新潟）		（新潟）		（富山）		（富山）		（富山）

『試合前トス』

- ・球審と控（審判幹事）立会で行われた。
- ・審判幹事がサングラス、テーピング選手の確認をしてくれた。
- ・サングラスを提示した選手に使用する選手はだれ？とチェックされていた。
- ・トス終了後、審判委員により登録選手と当日のオーダー表のチェックをおこなった。

『試合前ミーティング』

- ・1日目同様入念にミーティングをおこなった。

『試合後ミーティング』

- ・捕手が投手にボールを返す時マウンドに近づいて返球するので、そこから返球するように注意した。

審判長から2日の夜に、せつかく北信越各県の審判委員が集まったので、準決勝以降は各地域の審判委員をシャッフルして割り振りをしました。と伝えられた。

6月3日（月）

富山市民球場

第1試合

星稜（石川1位）5対2 富山第一（富山2位）

球審 笹川 1塁 野尻 2塁 出雲 3塁 伊藤 控 酒井
（新潟） （富山） （福井） （石川） （富山）

『試合前ミーティング』

- ・エルボガードを出して当たりに行く選手がいるので、注意してそのようなことがあったら、以降そのようなことをさせないためにも多少のボール球なら『タイム、ストライク』とコールしてもいいのでは、と話があった。

『試合後ミーティング』

- ・前ミーティングで話があった様に、実際に肘を出して当たりに行った選手があった。判定は『タイム、ストライク』であった。
- ・3塁コーチが、タイムをかける前に安打した二塁走者に向かって走って行き、手袋だけを持って帰った。手袋はそのまま着用かポケットにしまうことになっているので、注意するように指導があった。

第2試合

日本文理（新潟1位）3対8 敦賀気比（福井2位）

球審 山口 1塁 橋 2塁 渡辺 3塁 三村 控 丸池
（石川） （富山） （新潟） （長野） （富山）

『試合前ミーティング』

- ・内野の打球判定（フェア、ファール）については、投手が捕る打球以外は確認ができたらすべて、一塁、三塁が判定することにした。

『試合後ミーティング』

- ・第一試合であったように手袋だけを取りに行く選手が数名いたので注意した。
- ・一塁手が送球を捕球後、投手に返球の際にマウンドに歩み寄っていくので、数回にわたり注意をうけていた
- ・二塁審判、走者ナシ、シングルヒットでも何があるかわからないので、素早くベースに入り突然のプレイにも備えられるように指導していただいた。

決勝戦

6月4日（火）

富山市民球場

星稜（石川1位）3対1 敦賀気比（福井2位）

球審 一之瀬 1塁 小林 2塁 吉田 3塁 古森 控 土肥
（長野） （富山） （富山） （福井） （富山）

審判服から着替えて、スタンドから決勝戦を観戦させて頂きました。

審判室で見ているときは審判目線になり、審判の動き等が気になるのですが、今回はスタンドからの観戦で試合に夢中になり、最後まで観客として試合を観させていただきました。

決勝戦を担当された審判委員の皆様は、何事もなく試合を進められていて、審判委員が目立つことなく試合が終わる審判は良い審判であると感じました。

所感

審判委員打ち合わせ会議も含め5日間、北信越地区の派遣審判委員の皆様と有意義な時間を共にすごさせていただき、とても勉強になりました。

また、各県で所々やり方が違って、もちろんそれぞれに理由があり、クルーを組ませていただくと、やり易いところも多々ありました。良いところは地元でも実践していこうと思います。

担当させていただいた試合を通して感じて事は、選手とのコミュニケーション、四氏審判委員のコミュニケーションの大切さと、やはり高校生には、やってはいけない事、やらなければいけないことをしっかり注意し、伝えてあげると、その後はきちんと学習してくれるので、甲子園出場の際はしっかりプレイだけに集中できるように練習試合から選手に伝えるようにしていこうと感じました。

そして、今回派遣で来られた北信越地区の審判委員の方々は、とてもしっかりした方ばかりで、私も、高校球児のために、審判委員として、また、グラウンド以外でも人として、しっかり精進していこうと再確認させていただきました。

最後に5日間お世話して下さった富山県の審判委員の皆様、そして、ご指導いただいた地元審判委員の方々、高野連役員の皆さまに心より感謝申し上げます。